

# 平成28年度事業について

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

## 法人の概況

- 1：名称等 公益社団法人日本植物園協会  
Japan Association of Botanical Gardens（略称 JABG）
- 2：設立等 昭和41年4月11日（法人成立の年月日）  
平成25年4月1日付けで公益社団法人に移行
- 3：目的等 全国的な植物園ネットワークを通じて、植物園及び植物に関する文化の発展と科学技術の振興並びに自然環境の保全に貢献し、人類と自然が共生する豊かで持続的な社会の実現に寄与することを目的とする。  
（定款第3条）
- 4：事業内容 定款第3条の目的を達成するため次の事業を行う。（定款第4条）  
（1）植物園及び植物に関する調査・研究及び資料収集  
（2）植物園及び植物に関する教育並びに普及啓発  
（3）植物多様性の保全活動  
（4）植物園に関する支援  
（5）その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 5：監督機関 内閣府公益認定等委員会
- 6：事務所所在地 〒114-0014 東京都北区田端 1-15-11 ティーハイムアサカ 201
- 7：公益目的事業  
公1 植物園及び植物に関する科学技術の振興や自然環境の保全と文化の発展に貢献するための調査及び研究  
公2 植物の栽培や自然環境の保全等についての教育及び普及啓発
- 8：収益事業等 なし
- 9：総裁・役員等 平成28年4月1日をもって秋篠宮殿下が総裁に就任された

## 事業の状況

### I：植物園及び植物に関する科学技術の振興や自然環境の保全と文化の発展に貢献するための調査及び研究（公1）

#### (1) 調査及び資料収集

##### 1. 海外事情調査

調査先はシンガポール。調査期間は平成28年7月25日～30日の6日間。参加者負担金は23万円。「世界遺産シンガポール植物園とガーデンシティ・シンガポール」をテーマに、主な調査内容は、世界文化遺産に登録されたシンガポール植物園視察、ガーデンズ・バイ・ザ・ベイのガーデンフェスティバル視察、マックリチーツリーウォークでのマレー半島の熱帯林観察、市場等での東南アジアの有用植物資源視察等。田中伸幸隊長（国立科学博物館 植物研究部）を含む18名が参加した。

##### 2. 植物園概要

正会員のデータ更新調査の実施、概要データは植物園ライブラリに掲載。

##### 3. 国際活動

7月6～9日韓国ソウルで開催された2016 East Asia Botanic Gardens Network Symposium（東アジア植物園ネットワーク・シンポジウム）に国際交流推進委員会の國府方吾郎氏（筑波実験植物園）を派遣した。

12月25-28日にタイ・バンコクで開催されたシンポジウム「Botanic Gardens and Plant Conservation in ASEAN, China and Japan」に岩科会長が出席した。

#### (2) 生物の多様性保全

##### 1. 種苗交換

平成28年度は、正会員19園から寄せられた情報をもとに種苗交換植物リストを作成。リストには植物多様性保全事業における「絶滅危惧植物種の種苗交換」を一緒に掲載し、正会員に斡旋を行った。「絶滅危惧植物の種苗交換」は、種子保存拠点園である環境省新宿御苑がとりまとめとリスト作成を行い、リスト小冊子は正会員に2月初めに配布した。

##### 2. 植物多様性保全拠点園事業

###### ① 絶滅危惧植物保有状況調査

51回大会にて経過報告を行った。2020年目標の達成は困難な状況（197種の収集が必要）であるが、絶滅危惧植物の保有種数増加を目的として、植物園未保有種リストに採取可能性、栽培

可能性、生育環境条件、分布等の情報を加えたターゲットリストを作成して活動継続中。

#### ②絶滅危惧植物保全データベース

データベース分科会を3回開催し、データベース活用促進方法、環境省事業（域外保全）との連携手法等を検討した。5月に絶滅危惧植物保有状況（最新版）をデータベースに反映し、都道府県レベルの希少種の情報を組み入れるため「日本のレッドデータ検索システム」とのリンクを9月に開始した。51回大会、西日本拠点園交流会、ニュースレター等でデータベースの紹介・普及及び入力促進を依頼した。拠点園を対象に、データベース活用促進のためのアンケート調査を実施（1～2月）し、結果をとりまとめた。継続してデータ入力、提供された情報のスクリーニング及び公表を行った。

#### ③絶滅危惧植物の情報取り扱い検討

「絶滅危惧植物の情報取扱いガイドライン」に関するアンケートの結果をふまえ、事例集を作成した。

#### ④植物多様性保全拠点園ネットワーク活動

・種子採集／種子保全拠点園（新宿御苑）での絶滅危惧植物の種子保存

【新規収集、保存】協会未保有種4種、種子未保存種10種を含む49サンプルを保存。14種の増加により、自生地情報を有する保存種子が319種から333種に増加。

【保存用の種子の提供】3園から23種の種子提供依頼があった。

・ニュースレター20号（9月）、21号（12月）、22号（3月）を発行した。

・関東拠点園会議を開催：5/28（新宿御苑）、11/21（新宿御苑）3/23（神代植物公園）

・西日本拠点園交流会を開催：7/12（神戸市立森林植物園）

・環境省、愛知県、名古屋市を交えた中部植物多様性保全拠点園連絡会議を開催：12/14（東山植物園）

・絶滅危惧植物の種苗交換：7園から23種の提供があり、リストを作成して斡旋した。

・東北津波被災地の絶滅危惧植物保全の支援として希少野生植物の現状を把握するため現地調査を行った。

#### ⑤外来植物導入・栽培ガイドライン策定

「外来種の導入・栽培に関するガイドライン」を策定、公開した。富山県中央植物園の研究発表展示（平成29年1/27-2/15）、および研究発表会（1/29）で『外来種導入・栽培に関する日本植物園協会のガイドライン』と題する発表を行い、県民を対象に外来種問題とガイドラインについての普及啓発を行った。なお、「外来種導入・栽培ガイドライン分科会」は29年度から「外来種対策分科会」に改称して活動する（第4回臨時理事会承認）。

### 3. ナショナルコレクション活動の展開

委員会を1回開催した。ナショナルコレクション事業の目的を明確にし、事業概要パンフレットを作成、審査基準・申請書等の検討を行い、29年度からナショナルコレクションの募集を開

始する。コレクションを把握し申請につなげるためのアンケート調査を実施した。

植物多様性保全委員会と所掌範囲を整理した。保全委員会は植物そのものの保全を推進・支援することを主な任務とし、ナショナルコレクション委員会はコレクションの保存・継承の仕組みを作ることを主な任務とすることになった。

#### 4. ワシントン条約にかかる寄託管理事業

経済産業省との「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約（ワシントン条約）に基づいて任意放棄され、取得した植物に係る保護及び育成の寄託管理契約」に基づき、経済産業省から寄託された植物の保護育成を行った。本事業は平成7年から継続しており、平成28年度の寄託依頼植物数654株、28年度末の保護育成管理園28園、総保護数4,423株。

#### 5. その他、生物の多様性保全に関する活動

##### ■種子保存の方針策定

・環境省の希少種保全推進室、新宿御苑と意見交換し、種子保存事業の基本的な考え方、種子受け入れ・保存・利用のフロー、保存種子の取扱いについて整理した。

・絶滅危惧植物保存種子の播種・育成プログラムを試行実施した。

・種子等の超低温保存の方策について検討した。

##### ■環境省との基本協定書に基づく事業

・マルバテイショウソウ（高知県立牧野植物園）とサガリラン（沖縄美ら島財団）の野生復帰事業をおこなった。

・絶滅危惧種の種子収集をおこなった（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園、東京大学大学院理学系研究科附属植物園、白馬五竜高山植物園、大阪府立花の文化園、神戸市立森林植物園、福岡市植物園、九十九島動植物園、沖縄美ら島財団）。

・国内希少野生動植物種（植物）における生息域外保全の取組実施状況調査をおこなった。

■「国連生物多様性の10年日本委員会」の委員として、広報等への協力を行った

### **(3) 学術や文化の振興**

#### 1. 第51回大会行事

担当：白馬五竜高山植物園

会期：平成28年6月16日（木）～18日（土）

会場：白馬五竜高山植物園エスカルプラザ、白馬村ウイング21

※初代総裁として秋篠宮殿下のご臨席を賜った。

実施内容

- ・定時総会
- ・協会表彰（表彰者6名）

- ・分野別会議

- ・委員会活動等報告（環境省の取り組み報告、植物多様性保全委員会、ナショナルコレクション委員会、将来計画検討委員会、国際交流推進委員会）

- ・意見交換会

- ・研究発表会 日時：平成28年6月17日（金）9:30～12:15

内容：口頭発表7題、ポスター発表9題

- ・視察見学：八方尾根自然研究路、姫川源流・親海湿原

- ・公開シンポジウム「高山植物、絶滅危惧種を守るためにすべきこと」

日時：平成28年6月18日（土）12:30～15:20

場所：ウイング21

参加者：120名

## 2. 植物研究会・技術者講習会

### ■第1回植物研究会

担当：神戸市立森林植物園

期日：平成28年7月12日（火）～13日（水）

参加者：73名（現地視察38名）

講演：

「植物の分類—どうなるアジサイ属の今後—」 大場秀章（東京大学名誉教授）

「兵庫県における絶滅危惧種，生物多様性保全について」 服部 保（兵庫県立大教授）

「森林植物園でのアジサイの研究方針について」 前中 久行（元大阪府立大学教授）

「森林植物園の施設紹介—歴史と植物管理の現状—」 福本市好（森林植物園）

現地視察：神戸市立森林植物園・六甲高山植物園

※第3回西日本植物多様性保全拠点園交流会を併催（39名参加）した。

### ■第1回技術者講習会

担当：北里大学薬学部附属薬用植物園

期日：平成28年10月21日（金）～22日（土）

参加者：37名（講演会）、25名（観察会）

テーマ：『朮類生薬の基原植物であるオケラ属植物について』

内容：講演会、北里大学薬用植物園見学、弘法山オケラ自生地観察

## 3. 「日本植物園協会誌 第51号」

日本植物園協会誌第51号（A4判136ページ、480部）を発行した。会員への配布のほか、全国の都道府県立図書館に寄贈した。

#### 4. 分野別活動

■第1回目の分野別会議は、51回大会開催時にそれぞれの分野で実施した。

■第1分野（第52回国立大学植物園長会議・植物園協会第一分野拡大施設長会議）

担当：北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園

期日：平成28年10月29日（土）～30日（日）

参加者：11名

議題等：1)各園の近況について 2)植物研究会・技術者講習会

■第2分野（第34回国公立植物園運営会議）

担当：水戸市植物公園

期日：平成28年10月20日（木）～21日（金）

参加者：41名

テーマ：「植物園の再整備」

東京都夢の島熱帯植物館、名古屋市東山植物園、水戸市植物公園の事例紹介を基に質疑応答・意見交換を行った。

視察：偕楽園・七ツ洞公園

■第3分野

担当：六甲高山植物園

期日：平成28年11月9日（水）～10日（木）

参加者：6園（9名）議題等：1)2016年度営業状況の情報交換、2)次年度各園の活動予定、3)

第3分野の取組課題、4)次年度以降の協会事業予定（29年度分野会議：住友林業緑化株式会社）

視察：六甲オルゴールミュージアム、六甲ガーデンテラス、六甲高山植物園（六甲山観光株式会社  
の運営施設）、奇跡の星の植物館・淡路景観園芸学校・淡路ハイウェイオアシス

■第4分野

期日：平成28年9月23日（金）

場所：富山県民会館 会議室

参加者：16名

議題等：1)2016、2017年度技術者講習会について、2)生物遺伝資源委員会への報告、3)重点  
大型研究募集、4)薬草ガイドブック、5)薬用植物園若手育成の会の残予算について

見学：富山大学薬用植物園見学

## II：植物の栽培や自然環境の保全等についての教育及び普及啓発（公2）

### (1) 講演会・シンポジウム・展示会

#### 1. シンポジウム、講演会等

①公開シンポジウム「高山植物、絶滅危惧種を守るためにすべきこと」

期日：平成 28 年 6 月 18 日（土）

会場：ウイング 21（長野県白馬村）

講演：

「絶滅危惧植物の保護—日本自然保護協会から日本植物園協会への期待—」

亀山章（日本自然保護協会理事長 東京農工大学名誉教授）

「長野県の希少植物保全の取組と、白馬五竜高山植物園に期待するもの」

土田勝義（信州大学名誉教授）

「白馬岳植物登山史」

森和男（東アジア野生植物研究会主宰）

パネルディスカッション

## ②植物園セミナー

名称：「江戸の園芸文化を未来につなぐ～ハス編～」

日時：平成 28 年 7 月 23 日（土） 8：00～12：00

会場：上野公園（不忍池ハス観賞）、緑と水の市民カレッジ（講演会）

共催：公益財団法人東京都公園協会

参加費：会員無料、一般 1,000 円

参加者：55 名

内容：

観賞会「不忍池のハス」講師：高橋 康夫（日本植物園協会 名誉会員）

講演会「ハスについて」講師：石川 祐聖（東京大学大学院農学生命科学研究科）

## 2. 展示

①「新宿御苑みどりフェスタ」（平成 28 年 4 月 29 日）に出展予定だったが、強風のため、みどりフェスタが中止となった。

### (2) 普及啓発資料の発行

#### 1. ガイドブック、書籍

日本植物園協会第四分野が作成した『薬草ガイドブック』シリーズの頒布を行い、児童生徒、学生、幅広い市民への知識向上や薬用植物を中心とした植物と文化に関する普及啓発を行った。

### (3) 普及啓発資料の提供

#### 1. パネル・データ貸出

生物多様性・植物の保全等を目的としたパネルデータの活用促進に努め、2 件の利用があった。

#### 2. 植物園資料ライブラリの運営・更新

#### **(4) キャンペーン**

##### 1. 「植物園の日」事業

広報資材（ノボリ）を配布し、協会ホームページの投稿欄に関連行事案内を掲載した（3件）。

##### 2. 絶滅危惧植物マーク広報

マーク制定の意義を訴え、マークの活用を促進した。

##### 3. 自然災害被災地復興支援事業

①東日本大震災被災地支援のため「花を届ける夢の折鶴プロジェクト」を東京都夢の島植物館が継続して推進した。28年4月に27年度タネ提供先から6施設【福島わかば幼稚園、福島ルンビニー幼稚園、多賀城中学校、そけい幼稚園（宮古市）、荒浜保育所・吉田保育所（亶理町）】で折鶴の贈呈式等を行った。

#### **(5) 表彰**

##### 1. 表彰

木村賞 1名

黒岩 宣仁（高知県立牧野植物園）

坂崎奨励賞 4名

二階堂 太郎（国立科学博物館筑波実験植物園）

野崎 香樹（武田薬品工業株式会社京都薬用植物園）

大久保 智史（日本新薬株式会社山科植物資料館）

阿部 篤志（一般財団法人沖縄美ら島財団）

Aboc・CULTA賞 1名

大原 隆明 氏（富山県中央植物園）

### **Ⅲ：目的の達成に必要な関連事業**

#### 1. 後援及び協賛等

【後援】（昨年度からの継続事業含む）17件

①公益財団法人高知県立牧野記念財団

「すみれ・たんぽぽ」展

②大阪市立大学理学部附属植物園

特別展示「私たちが住んでいる地域の絶滅危惧植物」

③フラワー・ブラボー・コンクール実行委員会

平成28年度フラワー・ブラボー・コンクール（FBC）



- ④IUCN ラン専門家部会日本支部  
第9回「みんなで守ろう日本の野性ラン」シンポジウム
- ⑤公益財団法人豊橋みどりの協会  
絶滅危惧種展
- ⑥水戸市  
水戸藩の名君 光圀と斉昭をめぐる薬草
- ⑦公益財団法人広島市みどり生きもの協会  
特別企画展「宮島の植物」
- ⑧富山県  
オックスフォード大学交流記念展「英国の園芸文化と植物園」
- ⑨クリスマスローズの世界展実行委員会  
第15回クリスマスローズの世界展
- ⑩公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会  
花と自然のフォーラム2016
- ⑪沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会  
平成28年度沖縄国際洋蘭博覧会
- ⑫「花の力」プロジェクト実行委員会  
北前船でつながる花文化 ～のとキリシマツツジ展～
- ⑬株式会社夢舞台・兵庫県立淡路夢舞台温室  
淡路夢舞台ラン展2017 ランコンテスト
- ⑭名古屋市東山動植物園  
開園80周年記念講演会「植物と日本文化の歴史を探る」
- ⑮水戸市  
新春ガーデントーキング「今、日本の英国式庭園がおもしろい！」
- ⑯公益財団法人豊橋みどりの協会  
夢の青い花展
- ⑰公益財団法人日本補助犬協会  
第5回 もっと知って補助犬キャンペーン  
【共催】1件
- ⑱越後雪割草街道連絡会  
フラワートークショー2017  
【協力】1件
- ⑲一般社団法人日本公園緑地協会  
都市公園法施行60周年、古都保存法施行50周年、国営公園制度施行40周年記念  
「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会

## 2. ホームページ活用及び広報活動

・公益法人として必要な公開情報の更新、各事業等の告知等のため、協会ホームページの更新を行った。

・JABG ニュース（各3～4ページ）を会員に配布した（発行3回）

## 3. 諸会議

### 1. 第51回定時総会

日時 平成28年6月16日（木）12:30～13:10

会場 白馬五竜高山植物園 エスカルプラザ（長野県白馬村）

議題 第1号議案 平成27年度決算、第2号議案 役員の選任

第3号議案 名誉会員の推挙

報告 第1号報告 平成27年度事業報告、第2号報告 平成28年度事業計画

第3号報告 平成28年度収支予算、第4号報告 社員等の異動状況

### 2. 役員会・委員会等

#### 【理事会】

第1回臨時理事会（書面） 平成28年5月10日

第1回通常理事会 平成28年6月16日 白馬五竜高山植物園会議室

第2回臨時理事会 平成28年6月16日 白馬五竜高山植物園エスカルプラザ

第3回臨時理事会（書面） 平成28年9月14日

第4回臨時理事会 平成28年12月5日 事務局

第2回通常理事会 平成29年3月13日 事務局

#### 【執行役員会】（代表理事と業務執行理事による会議）

第1回執行役員会 平成28年5月17日 事務局

第2回執行役員会 平成28年8月19日 事務局

第3回執行役員会 平成29年2月7日 事務局

#### 【監査】

・平成27年度事業について平成28年4月21日に榎本監事、久山監事の2名による監査を実施した。

#### 【委員会】

・絶滅危惧植物保全データベース分科会

第1回会議（5月23日 新宿御苑） 第2回会議（11月21日 新宿御苑）

第3回会議（3月23日 神代植物公園）

・ナショナルコレクション委員会

第1回委員会（10月26日 安城産業文化公園デンパーク）

・植物園シンポジウム企画委員会

第1回委員会（6月17日 白馬五竜高山植物園）

第2回委員会（7月23日 緑と水の市民カレッジ）

第3回委員会（2月8日 東京大学大学院理学系研究科附属植物園）

・将来計画検討委員会

第1回委員会（6月17日 白馬五竜高山植物園）

第2回委員会（7月23日 緑と水の市民カレッジ）

第3回委員会（2月8日 東京大学大学院理学系研究科附属植物園）

・教育普及委員会準備会

第1回会議（11月25-26日 新潟県立植物園、新潟市水族館）

#### 4. その他

##### 【関連団体等との連携、提携、協力】

1) 「希少植物・絶滅危惧植物の持続可能な域外保全ネットワークの構築（環境研究総合推進費事業）」で開催されるシンポジウムの講師紹介を行った。

2) 2019年に京都市で開催される ICOM 京都大会の組織委員会委員（岩科会長）に就任し、会議に参加、情報交換等の協力を行った。

3) 3月3日、国連総会が定めた「世界野生生物の日」に関連して環境省と経済産業省が行った普及啓発活動に、パネル展示等で協力した。

##### 【特記事項】

1) スマートフォンアプリ「Pokémon GO」の利用に関するアンケートを行った。

2) 平成28年9月14日に、内閣府による立入検査があった。